

平成27年度 冠スポーツ奨学金証書授与式を開催

4月6日、平成27年度鹿屋体育大学入学式終了後に、本財団は冠スポーツ奨学金証書授与式を行いました。

この奨学金は、企業、団体等の方々から多額の寄附をいただいた場合に、その名称を冠した奨学金として、学生に対して給付することとしているものです。式では各企業の代表者の方々から風呂井敬本財団理事長へ奨学金が授与されました。

その後、競技能力が高く、全日本又は国際試合などで活躍し、将来が有望な学生10名に対して風呂井理事長から奨学金証書を授与しました。

ご寄附をいただきました企業等の皆様に心から感謝いたします。

平成27年度 冠スポーツ奨学金給付者

企業等名	代表者名
医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院	理事長 徳田 元 様
おおうら皮ふ科	院長 寺崎祐太朗 様
カイコー株式会社	代表取締役社長 村上 潤 様
株式会社鹿児島銀行	取締役頭取 上村 基宏 様
株式会社かのや寿自動車学校	代表取締役 水口 住康 様
株式会社きたやま	代表取締役社長 北山 勉 様
旭信興産株式会社	代表取締役 大石 博資 様
小鹿酒造株式会社	代表取締役社長 嶋田 正文 様
有限会社寿スポーツ	代表取締役 二川 健治 様
サツマガス工業株式会社	代表取締役 宮蘭 善隆 様
株式会社新生社印刷	代表取締役 岡崎 洋人 様
医療法人青仁会池田病院	理事長 池田 徹 様
大海酒造株式会社	代表取締役 河野 直正 様
有限会社風呂井会計	代表取締役 風呂井 敬 様
株式会社丸屋	代表取締役社長 原 康一 様
株式会社三井	代表取締役 郷原 忠男 様
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団	会長 水野 明人 様
株式会社ミズホ商会	代表取締役 田中 丈尋 様



冠スポーツ奨学金対象学生

陸上競技部	鍋島 莉奈	塚越さくら
体操競技部	金田 浩斗	上野みなみ
水泳部	高橋航太郎	橋本 英也
柔道部	堅山 将	原田 裕成
	堀 歩未	カヌー部 大城 海輝

編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827 (直)
編集兼発行人 風呂井 敬

平成27年度鹿屋体育大学入学式 学長告辞

学長 福永 哲夫



本日ここに、鹿屋体育

大学体育学部201名、
体育学研究科23名、合計
224名の新生を迎え、
平成27年度の入学式
を挙行できますことは、
国立大学法人鹿屋体育大
学の教職員ならびに在学
生にとりまして、大きな
喜びとするところであり
ます。そして、今日まで
ご子弟を温かく見守り、
ご支援を惜しまれなかつ
た保護者を初め、関係各
位の皆様方に、心からの
お祝いを申し上げます。
また、御来賓の皆様には、
誠にありがとうございます。
さて、我が国は平成22
年「スポーツ立国戦略」
を掲げ、その後、スポー
ツの振興に積極的に取り
組んでおります。そし
て、平成23年「スポーツ
基本法」が制定され、今
年は「スポーツ庁」が発
足される予定でありま
す。また、2013年には
2020年東京オリン
ピックパラリンピック開
催が決定し、大変な盛り
上がりを見せました。今
年から2020年に向
かって本格的な準備がス
タートしました。既に、
スポーツは日本の社会に
おいて欠かすことの出来
ない文化として根付いて
きております。

ここで、スポーツを定
義しておく必要がありま
す。私はスポーツとは
「健康の為」「教養とし
て」さらには「競技力向
上のため」のあらゆる身
体運動と定義したいと思
います。
健康で文化的な生活は
日本国憲法で保障されて
おりますが、その為には
日常生活におけるスポー
ツの実施は必要不可欠と
いえましよう。つまり、
現代生活においては、慢
性的な運動不足と過食状
況にあり、その結果、多
くの成人病や運動不足病
を生む現状が報告されて
おります。このような社
会環境では、日常生活に
おける適切なスポーツの
実施が必要であり、その
対策が、わが国だけにと
どまらず、世界各国で叫
ばれてきております。更
に、オリンピックやワー
ルドカップに代表される
トップアスリートの素晴
らしい競技成績は、社会
全体を活気づける事も事
実であります。つまり、
スポーツは健康長寿の
礎、体力の向上、人格の
形成に欠かせないばかり
でなく、地域の活性化
や、スポーツ産業等の広
がりによる経済的効果な
ど、明るく豊かで活力に
満ちた社会を形成する上
で欠かすことのできない
存在であることを明示し
ております。鹿屋体育大
学はまさしくこの「ス
ポーツ立国戦略」を実現
するに相応しい大学とし
て存在しております。

鹿屋体育大学は昭和56
年に「体育学・スポーツ
科学」の研究と教育を専
門とする、国立で唯一の
単科の4年制体育大学と
して設置され、今年で34
年目を迎えます。
鹿屋体育大学のミッ
ションとして次のような
人材の育成を目指してお
ります。すなわち、体育
学部においては、実践
的・創造的な指導力と優
れた応用能力を持つ、活
力ある指導者になり得る
人材及び高い人間力と社
会の各分野で活躍できる
能力を持つ職業人になり
得る人材を育成し、体育
学研究科においては、高
度な専門的知識と豊かな
学識を有し、国際的に活
躍できる専門指導者にな
り得る人材を育成する事
であります。
科学的な知識と技術に
裏付けされたスポーツ指
導により、人間を心身と
もに高めていく事は、こ
れまでの体育学スポーツ
科学により明らかにされ
てきております。一方
で、単に個人的な
経験や興味本位で
行うスポーツの指
導は、とすれば、
障害や疾病を引き
起こすばかりでな
く、バーンアウト
やスポーツ嫌いを
増やすことにもな
りかねません。鹿
屋体育大学では科
学的背景に基づき、
スポーツ指導が可
能な専門的指導者
の育成を目指して
おります。



平成27年度 鹿屋体育大学入学式

ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

健やかなスポーツシーンを 人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて
地球環境保全活動に貢献します



チャレンジ
25
未来が変わる。
日本が変わる。

入学おめでとう!!

平成27年度入学式

4月6日、鹿屋体育大学では平成27年度入学式が行われ、体育学部181名（スポーツ総合課程128名、同武道課程53名）、同第3年次編入学20名（スポーツ総合課程20名）、大学院体育学研究科修士課程13名、同博士後期課程10名の計224名が、鹿屋の地で新生活のスタートを切りました。

式では、新入生を代表して栗原佑佳さん（武道課程）が「先輩や同期の学生と切磋琢磨し、実践的な体育指導者を目指して、学業及び競技力の向上に励みます」と宣誓を行いました。

また、来賓を代表して、中西茂鹿屋市長（代理・原口副市長）から「ご入学おめでとうございませう。鹿屋体育大学の校風、先輩が築きあげてきた伝統、そして鹿屋魂を受け継ぎ、自らの夢



新入生宣誓



原口副市長



学長表彰



鹿屋体育大学入学式会場



学生歌斉唱



鹿屋体育大学新入生を地元市民が歓迎

鹿屋体育大学では、4月11日から12日までの1泊2日の日程で、平成27年度新入生合宿研修を実施しました。

この研修は、1泊2日の合宿研修を通じて、今後4年間の学生生活を有意義により良く過ごせるようにするため、新入生同士の人間関係を形成し、合わせて上級生及び教職員との良好な関係を築くことを目的としており、今回は新入生、学生委員会委員、体育会役員等合わせて208名が参加しました。

1日目は、森司朗学生委員会委員長（学生支援担当学長補佐）の挨拶で



田中会長

鹿屋体育大学として、全国的にも珍しい入学式が行われた4月6日の夜、地元団体でつくる鹿屋地域づくり交流事業実行委員会の主催による鹿屋体育大学新入生歓迎会が同市内の「リナシティ」の「リナシティ」で開催され、新入生をはじめとする鹿屋体育大学関係者約250名が参加しました。

今日で19回目となるこの歓迎会は、県外出身者の多い同大学の新入生に地元市民や団体との交流を通じて、鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的



会話もはずむ



OBからのエール



盛り上がったアトラクション



平成27年度新入生合宿研修を実施

その後、国立大隅青少年自然の家野外炊飯場へ移動し、各班毎に協力して作ったカレーを食べ、1日目のプログラムを終了しました。

2日目は、16班に分かれてのウォークラリーを実施しました。ウォークラリーは、地図を用いてコースに設置された40箇所のポイントを検索し、植物図鑑を使って各ポイントで正しい植物名を回答するルールで行われ、クラスごとに作戦の違いが見られ、スコアに大きな差が出ました。

閉会式では、ウォークラリーの表彰が行われ、上位3チームに賞が贈られました。

新入生からは「自然とたくさん触れあえて楽しかった」「友達が出来て良かった」「カレー作りやウォークラリーを協力して取り組み、クラスの仲間意識が深まったように感じた」との声が多く聞かれ、非常に有意義な研修となりました。

また、昼食前には、同大長島末央子講師による食事オリエンテーションが行われ、栄養の摂取方法について説明がありました。

その後、国立大隅青少年自然の家野外炊飯場へ移動し、各班毎に協力して作ったカレーを食べ、1日目のプログラムを終了しました。



美味しいカレーが出来ました



連帯感も深まった2日間

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿屋市今坂町10115番地
TEL (0994) 43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校

鹿屋市公安委員会指定

すべての消費者のために!!

MOVE
It's your future
寿スポーツ

鹿屋市元1丁目3番5号
TEL 0994-44-2123

バス
R269
ドラッグイレブン

寿スポーツ

株式会社 **三木商会**

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、**レモンガス**

株式会社**レモンガス**かこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

◆ご挨拶

スポーツ生命科学系
教授 安部 孝

はじめまして。4月1日付で着任しました安部孝と申します。主に学部と大学院の運動処方論を担当します。

これまででは東京大学や東京都立大学（現首都大学東京）などで、約30年にわたって大学の教育と研究に携わってきました。私自身、出身は体育大学ですが、体育系の大学に勤務する機会に恵まれませんでした。同じ専門分野を志す学生の皆さんと切磋琢磨できることを嬉しく思っています。

鹿屋に来て感じたことは、私が生まれた山形県の米沢盆地と景色がよく似ていることです。米沢盆地は、吾妻山や飯豊山など四方を2000m級の山に囲まれた自然豊かな所です。しかし、冬の約4ヶ月間は雪に閉ざされ、幼い頃から雪の降らない温暖な場所での生活したいと思っていました。今回、長年の夢が叶った気がしています。

現在、興味を持って進めている研究は、サルコペニアの評価法と判定基準の開発、さらにはサルコペニアの克服法に関する研究です。サルコペニアとは、加齢にともなう筋量と筋機能の低下のこと、身体の機能障害と密接な関連性を示します。最近では骨量の減少や転倒、さらには認知機能との関連性を示唆する研究もみられます。ここ鹿屋から多くの研究成果を世に発信できるようにペストを尽くす覚悟です。どうぞよろしく願います。

◆邁進

スポーツ人文・応用社会科学系
准教授 下迫 晃

4月1日付で着任しました下迫晃と申します。本学を卒業して20年以上になりますが、この度、鹿児島県出水市立出水商業高等学校より参りました。

学生時代は専門とする剣道はもとより、体育・スポーツ全般についての学習をしたという思いで多くの学習活動やイベント活動に参加をしながら、いろいろな失敗もありましたし、反省も多々ありましたが、日々仲間たちと充実した時間を過ごしていたことを思い出します。

これら学生時代の経験活動が糧となり20年ほど学校教育に従事してきましたが、生徒指導に係る業務が多く、これも保健体育科の教職員だからこそ為せる役目だとも考えています。

こちらでは保健体育科教育法などを担当いたしますが、学校現場の現状や教職員として求められる資質等を皆さんに少しでも理解してもらい、皆さんが学校現場で即戦力として活躍出来るよう、その一助となるべく努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

◆新たな一歩

スポーツ人文・応用社会科学系
教授 亀本 親志

4月1日に着任しました亀本親志です。私は、昨年3月に教員を定年退職しました。退職を機に自宅の庭に一坪農園を作ってみました。汗をかくて土を耕し、肥料を施すなど準備が大変でした。そこに、キュウリやナス、トマトなどを植え、風で倒れないように支えをしておいたところ、2か月経って花が咲き小さな実が付き始め

した。あとは、時々追肥をして水をやるだけで、夏の終わりまで収穫することができました。

その時、『作物の栽培は、子どもたちを教育することと同じだ』と気付きました。つまり、事前に万全の準備をしておけば、子どもたちは手をかけなくても自身の力で成長していくのだと。

教育の本質につながる農作業を通して学んだことや私の37年間の教員生活を通しての思いや考えを伝えていくことで、私の務めを果たしていければと考えています。

高校生のための最新スポーツ科学体験プログラムを実施

鹿屋体育大学では、3月25日～27日の3日間、スプリング・サイエンスキャンプ「スポーツ科学の最先線」(Gold)を実施しました。

スプリング・サイエンスキャンプとは、独立行政法人科学技術振興機構が主催する事業で、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業等を会場に、高校生を対象とした科学技術体験合宿プログラムです。最先端の研究施設や実験装置を有する研究現場等で、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心、理数の才能等を育てることをねらいとしています。

今回は12機関で実施され、同大には全国各地から選ばれた16名が参加しました。

同大のプログラムは、人間の身体能力を極限状態にまで高め、限界に挑戦するスポーツ科学の最先端テクノロジーを紹介し、パフォーマンスの向上に最先端科学が果たす役割について理解を深めてもらうとともに、スポーツ科学の研究成果が、一般の人の健康づくりに幅広く応用され、国民すべての健康の維持・増進に對しても大きく貢献していることを理解してもらうことを目的としたもの。

参加者は、スポーツ科学の講義と実験を通してさまざまな発見をするとともに、同じ夢を持つ仲間と協力しながら実験に取り組むことで、良い刺激を受け、交流を深めたようでした。

実施されたプログラムは以下のとおり。

3月25日
・イントロ講義「スポーツ科学」という科学
・実習「筋活動」

3月26日
・講義・実験Ⅰ「スポーツ活動と持久力」
・実習「筋活動」

3月27日
・講義・実験Ⅲ「スポーツ活動の3次元分析」
・実習「筋活動」

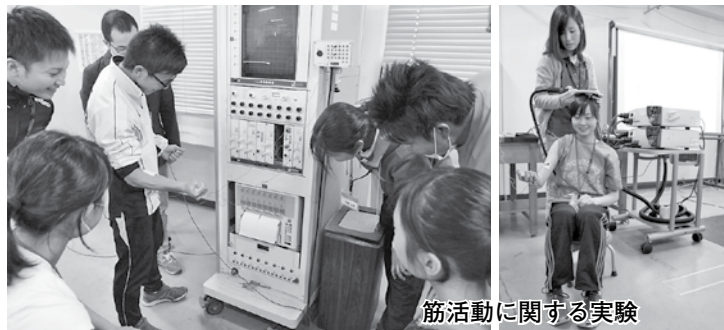
また、同じ夢を持つ仲間と協力しながら実験に取り組むことで、良い刺激を受け、交流を深めたようでした。

実施されたプログラムは以下のとおり。

3月25日
・イントロ講義「スポーツ科学」という科学
・実習「筋活動」

3月26日
・講義・実験Ⅰ「スポーツ活動と持久力」
・実習「筋活動」

3月27日
・講義・実験Ⅲ「スポーツ活動の3次元分析」
・実習「筋活動」



筋活動に関する実験

サークル紹介



ゴルフ部は現在 2名の部員が在籍しています。昨年度、一気に3名の部員が卒業と同時に抜け、現在は2名でひっそりと活動しています。

大学内には、立派な130ヤードの打撃練習場があります。週末などは、地元のゴルフ場や練習場などでのラウンド練習もでき、練習環境はとても充実しています。

競技スポーツとして、シリアスに競技力向上を目指すよりは、ゴルフというスポーツを純粋に楽しむ、ゴルフを通じて人との繋がりが大切にする、この2つをテーマにゴルフ部は活動しています。

そのため、部員同士だけでなく、他のサ

ークルの学生や地域の方など、幅広い層の方々と交流するように心掛けています。

また、ゴルフをテーマに研究を行っている部員もあり、自らがプレーする以外にも、多角的にゴルフに関わりたいと考えています。

これからも、ゴルフ部は人数的に厳しい状況が続きますが、人数が少ない中でも精一杯活動して、ゴルフというスポーツの普及に貢献していけるように頑張りますので、ご支援よろしくお願い致します。

守るべきは鹿児島の自然
伝えるべきは鹿児島の食文化



小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363
http://www.shochu-kojika.jp
お酒は20歳を過ぎてから。

心豊かな車社会を願う

寿自動車学校

スクールバスを1時間ごとに運行しています

鹿屋市札元1丁目13-30 電話(0994) 43-2627

何か物足りない、何か決め手に欠く、
そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に徹する

株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-22-34

TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541

URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

福岡・熊本・鹿児島・宮崎・国分・川内・都城・奄美・種子島・屋久島
大分・指宿・南薩・志布志・南大隅・串間・日南・出水・始良・曾於

